

奥宸殿

奥宸殿は、江戸時代（1603～1867）初期に建設されました。身分の高い人物が座る場所（二畳台）と護衛が待つ場所（武者隠し）があります。

主な特徴は、「醍醐棚」と呼ばれる違い棚（段違いに取り付けた棚で、古典的な建築様式として重要なもの）です。これは、日本で細工された名棚の3本の指に入ると言われています（天下の三大名棚）。他の2つは修学院離宮の「霞棚」と桂離宮の「桂棚」です。どちらも京都にあります。奥宸殿は重要文化財に指定されています。